

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		10/12 （10/5との比較）	10/12 （10/5との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.50% （▲0.10）	86.15円 （▲1.98%）	+1.9% 2018年2Q	1.50%	発表された住宅着工件数や住宅建設許可は市場予想を下回る結果。米ドル円に連れ安となったことや、原油価格やオイルサンドの指標となるWCSが下落したことなどから、カナダドルは対円で下落。国債利回りは低下。	製造業売上高や小売売上高、CPI（消費者物価指数）などが発表予定。小売売上高は自動車を除くとほとんど増加しない見込み。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	9.45% （▲0.65）	29.68円 （+0.22%）	+1.0% 2018年2Q	6.50%	発表された小売売上高は市場予想を上回る結果。また、最新の世論調査で、決選投票におけるボルソナロ氏の支持率が対立候補に対して大幅にリードしているとの報道などから、レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	特段重要な経済指標等の発表はなし。ブラジル大統領選第1回投票で最多得票を獲得したボルソナロ氏の筆頭経済顧問が不正疑惑で捜査を受けていることなどから、今後の展開には要注目。為替市場は底堅い動きを想定。
	Ba2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.96% （▲0.06）	5.95円 （▲1.53%）	+2.6% 2018年2Q	7.75%	発表された鉱工業生産は市場予想を下回るものの、CPIは市場予想を上回る結果。米国の金利上昇や、米国株式市場の大幅下落の影響を受けたことなどから、メキシコペソは対円で下落。国債利回りは低下。	特段重要な経済指標等の発表はなし。引き続き、米国の金利上昇などリスクセンチメントに影響を受けやすい地合いを想定。債券・為替市場はともに海外の重要な経済指標等につられやすい展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		10/12 （10/5との比較）	10/12 （10/5との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.75% （+0.04）	79.81円 （▲0.49%）	+3.4% 2018年2Q	1.50%	発表された外貨準備高や消費者信頼感指数は前回を上回る結果。米国をはじめとした世界同時株安の影響を受け、リスク選好姿勢が後退したことなどから、豪ドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	雇用統計などが発表予定。米財務省による半期に一度の為替報告書で、中国がどのように記載されているかは要注目。引き続き、米中貿易摩擦への懸念もあることなどから、為替市場は上値の重い動きを想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.65% （+0.05）	73.02円 （▲0.32%）	+2.8% 2018年2Q	1.75%	発表された住宅売上高や製造業PMI（購買担当者景気指数）は前回を下回る結果。週後半にかけて、米国金利の低下を受け、米ドル売り・円買いの流れから、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	CPIなどの発表が予定されているものの、米国株式市場や米国金利、米中貿易摩擦など海外市場に注目材料が多く、相場に動意を与える材料とならない見込み。為替市場は海外市場に影響を受けつつ一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	2.05% （▲0.02）	13.73円 （▲0.36%）	+3.3% 2018年2Q	0.75%	発表されたCPIやPPI（生産者物価指数）は前月比で市場予想を上回る結果となったものの、相場への影響は限定的。円が大半の通貨に対して強含んだ流れを受け、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	貿易収支や住宅価格指数、鉱工業信頼感指数などの発表が予定されているものの、市場への影響は限定的と想定。短期的には、米中貿易摩擦など海外市場に影響を受けやすいことなどから、為替市場は一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		10/12 （10/5との比較）	10/12 （10/5との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	8.63% （+0.01）	7.73円 （+0.37%）	+0.4% 2018年2Q	6.50%	発表された製造業生産は市場予想を上回る結果。虚偽の発言をめぐり財務相を辞任したネネ氏に代わり、元中銀総裁のムヴォウエ二氏が新財務相に就任したことを市場が好感し、ランドは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	小売売上高などが発表予定。市場予想ではマイナスを見込んでいることなどから結果には要注目。市場全般に材料が少ない中、債券・為替市場はともに方向感の出にくい展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	8.50% （+0.26）	0.74円 （▲1.11%）	+5.3% 2018年2Q	5.75%	特段重要な経済指標等の発表はなし。ジョコ大統領は、物価上昇回避のため、燃料価格の引き上げ延期を指示。株式市場の世界的な下落に伴うリスク回避的な動きなどから、ルピアは対円で下落。国債利回りは上昇。	貿易統計などが発表予定。米国株式や米国金利、米中貿易摩擦など外部要因に影響を受けやすい展開が想定される中、為替市場は中銀により支援されることなどから、底堅く推移する見込み。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
インド 	BBB-	7.97% （▲0.01）	1.52円 （▲1.13%）	+8.2% 2018年2Q	6.50%	発表されたCPIは市場予想を下回る結果となったものの、鉱工業生産は市場予想を上回る結果。米国金利上昇を背景とした米ドル高圧力や、原油価格の下落などから、インドルピーは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	卸売物価や貿易収支などが発表予定。引き続き、米国金利の動向や原油価格の推移など、対外要因に左右される展開を想定。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

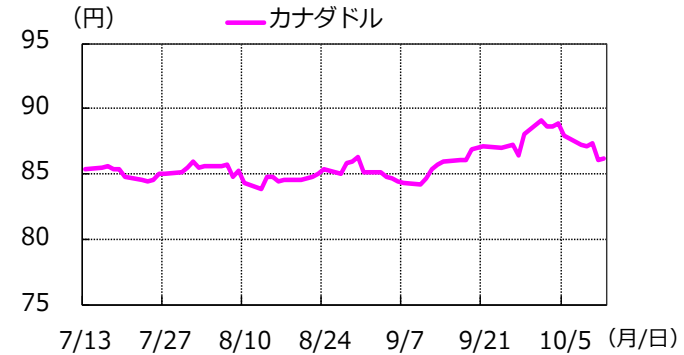
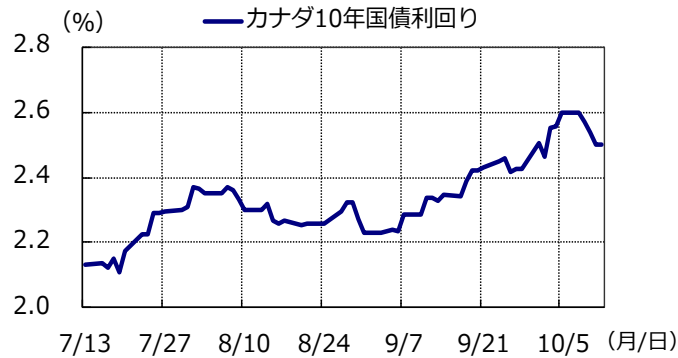
出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

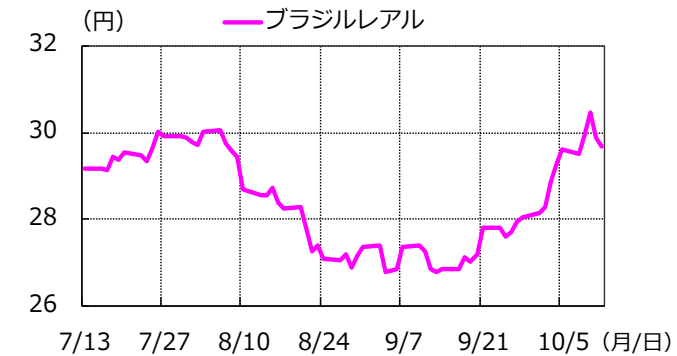
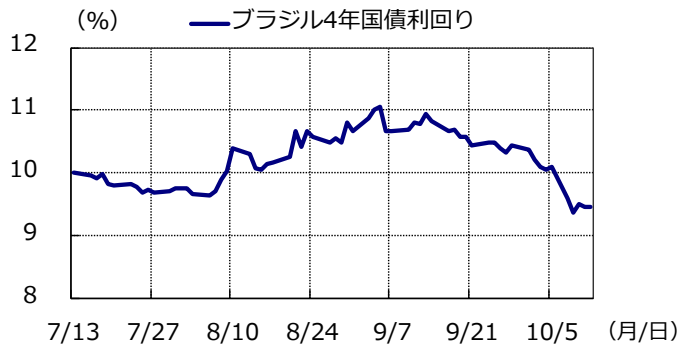
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/7/13～2018/10/12

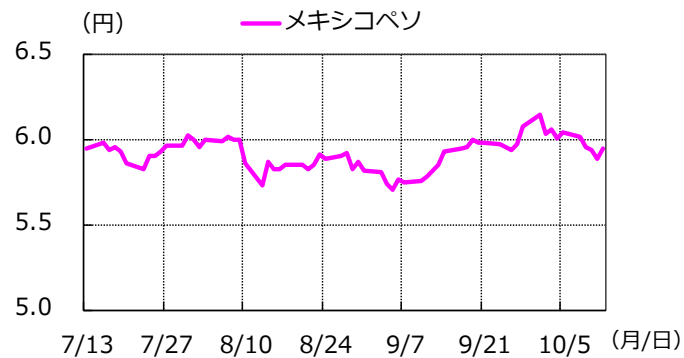
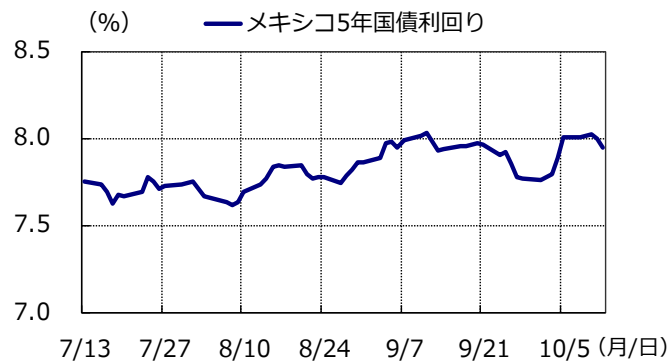
カナダ



ブラジル



メキシコ

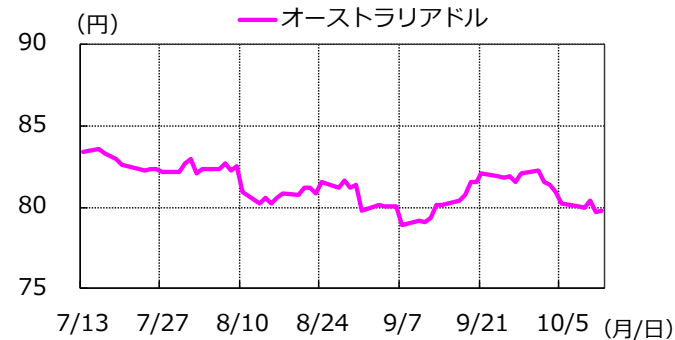
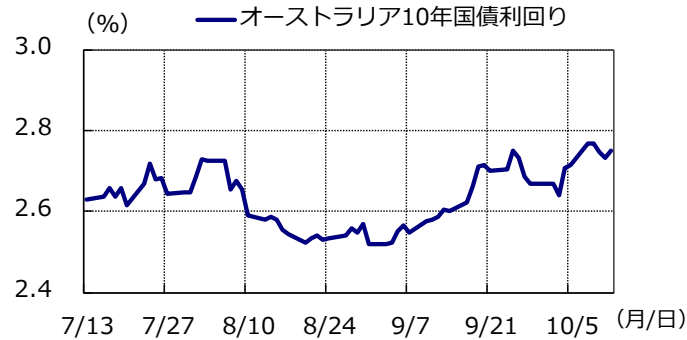


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

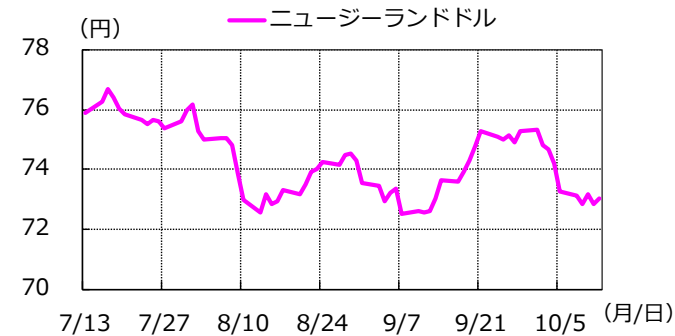
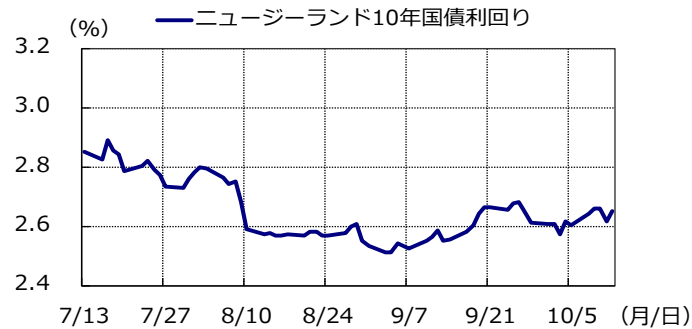
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/7/13～2018/10/12

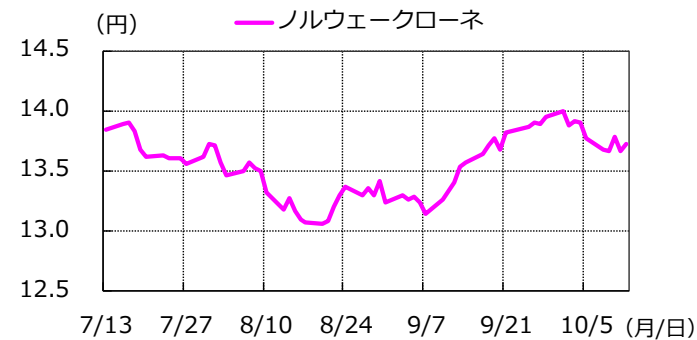
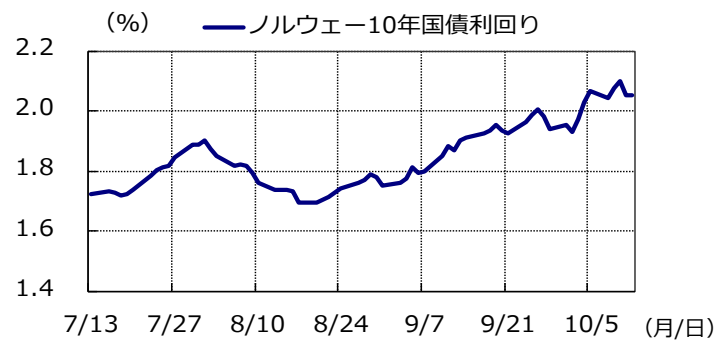
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

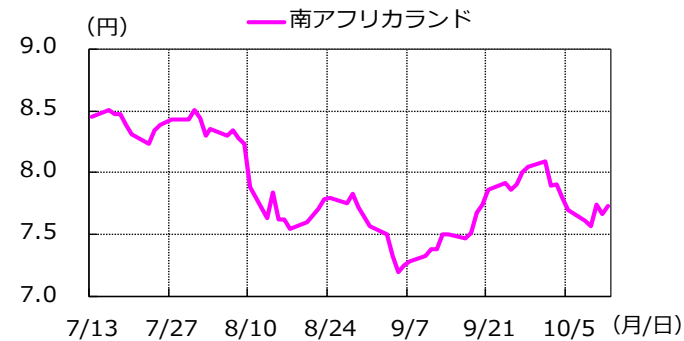
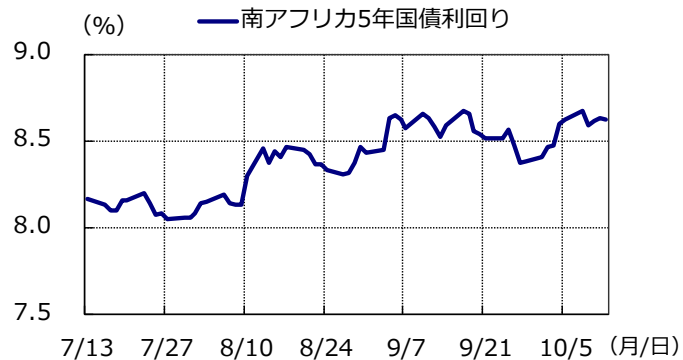


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

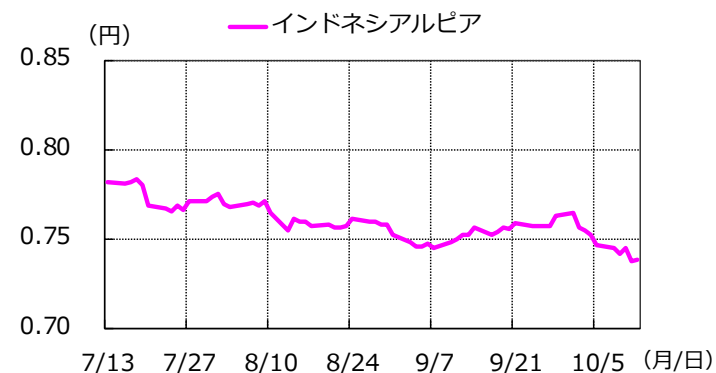
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/7/13～2018/10/12

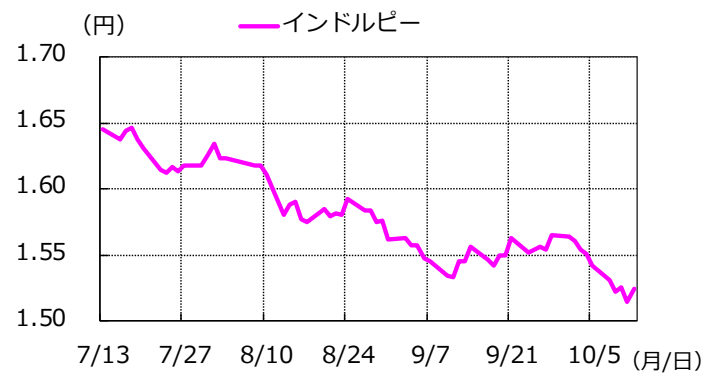
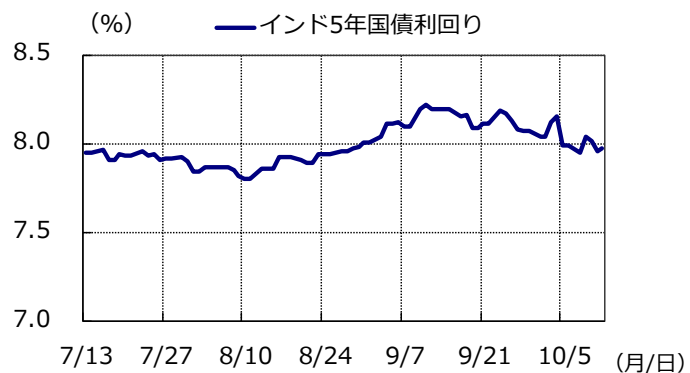
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。